

第 50 回通常総会の開催について

会長 安西祐一郎

第 50 回通常総会を代表会員制度に沿って下記により開催いたします。

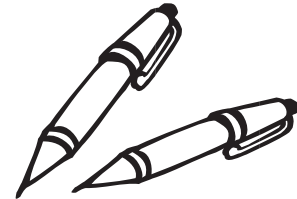
総会の案内状は、民法上の社員である、選挙で選出された代表会員および役員に 4 月に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員および役員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日時 平成 19 年 5 月 30 日 (水) 16:00 ~ 18:00
会場 学士会館 (東京都千代田区神田錦町 3-28)
議案
1. 平成 18 年度事業報告および決算について
 2. 監査報告
 3. 平成 19 年度事業計画および予算について
 4. 会費滞納会員の取扱いについて
 5. 名誉会員の推挙について
 6. 平成 18 年度功績賞、論文賞、業績賞、長尾真記念特別賞の発表と表彰
 7. 平成 19 年度役員改選について

※総会終了後、懇親会 (有料予定) を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。



情報処理学会の会員になりませんか!

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として 21 世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT 分野の皆様の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌 (「情報処理」「情報処理学会論文誌」) の発行
- 各種行事の開催 (研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム (FIT)、シンポジウム、連続セミナー他)
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■ご入会いただくとこんな良いことがあります

- 1 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。
- 2 電子図書館 (BookPark) で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 3 「連続セミナー」に会員価格で参加できます。
- 4 「シンポジウム」に会員価格で参加できます。
- 5 「研究発表会」に会員価格で参加できます。
- 6 出版図書が会員割引で購入できます。
- 7 《学生会員の方は》お好きな研究会を 1 つ無料で登録できます。
- 8 《学生会員の方は》IPSJ Digital Courier に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金がもらえます。

■会員になるには

会費等をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。詳しくは以下をご覧ください。

↓
www.ipsj.or.jp

- 個人会員
正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わる個人
学生会員：学校に在学中の個人
準会員：専門外の高校、中小学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人
- 賛助会員：当学会の活動をサポートする法人

(社) 情報処理学会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご感想・ご意見を紹介いたします。まず、特集「安全と安心のための画像処理技術」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■私自身もとても必要性を感じている重要かつ魅力的な技術だと思います。この先進的な技術を実際に動作させた結果と共に詳細に説明されていて、とても興味深く拝読させていただきました。また、技術者としてつい技術に注目してしまいがちですが、監視システムの運用における法的問題点・社会的な面での難しさ・現状も知ることができました。(匿名希望)

■技術の表向きの良さを追求するのは技術者として当然だが、想定外の裏面性があることに留意すべきではあるまいか？たとえば衝突しない車だと思って買った人が事故を起こすと、買った人だけの責任と言い切れるだろうか？(匿名希望)

■最近画像処理技術を応用した製品が見られるようになってきましたが、まだ完成度は低いようです。安全上有効な分野も多いので、実用に耐える製品が早く普及することを願っています。(匿名希望)

■テーマの選び方、目の付け所がよいと思った。個別の記事については時間の制約と自分の専門との乖離から理解し評価できるまでいたらなかったが、「編集にあたって」に各記事の紹介があるので概要だけでもつかめたことがよかった。(匿名希望)

■「人物を認識することの法的問題点～監視カメラシステムの設置運用基準～」について：情報処理学会の多くの記事は情報処理技術の開発に関するものやその利用に関するものである。一方、その法的、倫理的側面を考察した記事は少なく、この点から、本記事を興味深く拝読した。今回の記事は著者の試論と断り書きがあるということから、まだまだ法整備が進んでいないのだということも垣間見ることができた。我々の住む社会は今後ますます情報化されていくことは間違いなく、技術開発を行う我々も法的なことを理解しておく必要がある。(匿名希望)

■「画像によるエレベータ内異常検知技術」を興味深く読ませていただいた。数式が登場するので理解に苦しんだが、昨今の世界には必要な技術と思われる、本技術が犯罪検出・防止に大いに役立ってくれることを

願う。(匿名希望)

■「画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー」について：あくまでも、「高齢者(特に認知症者)およびその介護者にとって安全、安心度の増すシステム」という原点をはずさないようにすることが大切だと思う。刺激を提示して集中力を維持させるというのが認知症者自身にとって望む方向なのか、かえって無理強いをしているのではないかなどという観点での十分な論議が必要かと思う。去年の記念シンポジウムの妖精論文にあったような、見守りの視点があるといいのかなあと思いました。(岩本茂子)

■「画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー」について：認知症の祖父をみとった経験があり、現在も実家に高齢の祖母がいるため、介護者の負担を軽減するシステムには非常に興味があります。このようなシステムが今後さらに発展していくことを期待しています。(匿名希望)

■「鉄道と乗降客の安全を確保する画像認識技術 一踏切、ホーム端からの転落防止一」について：かつては私もこの分野の研究に携わっていましたが、最近の動向、技術的な進展が伺え、大変興味深く読ませていただきました。(菊地 誠)

連載「これからの情報処理学会」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「選ばれる論文誌を目指して」について：日本国内からの投稿よりも海外からの投稿が多くなるよう施策を講じたらどうでしょうか？たとえば、論文誌、会誌はもとより、全国大会から研究会にいたるまで、すべて英語を公用語とする。学生会員であっても、研究会での口頭発表は英語の使用を義務付けるなど。このように強く感じるのには、JABEEがワシントンアコードに加盟することで、情報工学・情報学も世界的な標準化の流れに従うことが必然となったからです。(水野光朗)

■「産学連携と情報処理学会」について：半導体企業からは情報処理学会は縁遠い雰囲気がある。組み込みソフトウェアが注目を集めている昨今、もう少し身近で企業活動に役に立つものになることを期待する。厳しい制約と技術の進化に追従が必要な開発現場からは論文中心の学会活動では間延びした感が否めない。(匿名希望)

■このシリーズを楽しみに読んでいます。テクノロジーの発展に伴って、できることも変わってきているはず。電子化・情報化や新しい試みの実践の場として、会員全体が参加していけるチャンスと考えています。(折田明子)

■「選ばれる論文誌を目指して」について：著者からは査読期間の短縮が求められるが、ボランティアで査読を実施していただいている方々の苦勞を考えると、なかなか短縮できないのも理解できる。論文誌ジャーナルでは、

年々査読期間の短縮ができてきているとのことで、本当に関係者の方々の努力に感謝したい。(青木道宏)

■論文誌をどうするか、産学連携がどうあるべきかは重要な問題だと思っています。本誌が情報共有や議論の場になることを期待しています。(匿名希望)

報告「第17回全国高専プログラミングコンテスト同行の記」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■私自身も高専プロコンに参加していたことがあるので、本誌で取り上げられたのはよいことだと思う。認知度が高まる方が、学生としてもやる気が出ると考えます。(匿名希望)

■審査方法が非常に教育的、実践的で感激しました。(黒田幸明)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コラム「標準化よもやま話『ビジネスと国際標準、その合意形成』」について：組織と個人、本当のコミュニケーション能力とは何か、を改めて考え直す必要を感じた。(根津芳香)

■解説「リビングから始めるコピキタスー情報家電インタフェース」について：構文解析、意味解析など私が関係する自然言語処理のトピックが扱われていたため抵抗なく読めた。情報家電における自然言語処理の位置づけ

が分かり、ためになった。(匿名希望)

■報告「IEEE Computer Society 60周年記念式典報告」について：NHKの番組“プロジェクトX”が終了して久しい。ITの世界でも、穂坂衛先生のように活躍された方々の生き様を会誌で紹介していくのは、若きITエンジニアたちへの励みになると思います。(鹿島鉄雄)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■WiMAX環境が普及すると既存の通信環境が大幅に変わると考えます。そのときのサービスについて、ソフトウェア面から見た特集を希望します。(黒田幸明)

■ソフトウェアテストの技法の最前線をレポートしていただきたいと思っています。例)便利なソフトの紹介等。(匿名希望)

■今月号は、正直、読み応えがあって非常に内容の濃いものでした。ページサイズについては、コンパクトにまとめられている記事のほうが、要点もはっきりし、今の時代の読み手にとっては望ましいのでは、と感じました。(平川正人)

■最近立ち上がった、暗号モジュール認証制度について取り上げてほしい。(匿名希望)

【本欄担当 濱 利行、小幡元樹/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomienq/enq4804.html>



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「情報洪水時代のネットワークサービス」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-G.html	5月11日(金)		
	論文誌「社会的課題に挑む情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-E.html	5月15日(火)		
	論文誌「新しいパラダイムの中での分散システム/インターネット運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-F.html	5月28日(月)		
	論文誌「イノベーションプロセスのスタディ」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-H.html	6月30日(土)		
4月24日(火)～ 4月25日(水)	第5回教育学習支援情報システム研究グループ発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CMS5.html	3月5日(月)	4月上旬	大阪大学 豊中キャンパス
5月9日(水)	東北支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			東北大学工学部
5月10日(木)	東海支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			愛知厚生年金会館 (名古屋市)
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第70回音楽情報科学・第7回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS70EC7.html	3月12日(月)	当日のみ	パナソニックセンター 東京 第4,5,6会議室
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第130回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM130.html	3月15日(木)	当日のみ	京大会館
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第45回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DSM45.html	3月23日(金)	当日のみ	高知工科大学
5月11日(金)	四国支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			徳島大学工学部
5月11日(金)	中国支部平成19年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			広島大学 東千田キャンパス
5月11日(金)	北陸支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			詳細未定
5月11日(金)	九州支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			詳細未定
5月11日(金)	第112回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL112.html	3月11日(日)	当日のみ	岩手大学
5月11日(金)	第123回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HCI123.html	3月17日(土)	当日のみ	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
5月14日(月)～ 5月15日(火)	第159回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CVIM159.html	2月28日(水)	当日のみ	東京大学 生産技術研究所
5月17日(木)	第64回数理解モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS64.html	3月22日(木)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
5月17日(木)～ 5月18日(金)	第41回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL41.html	3月17日(土)	当日のみ	沖縄県青年会館
5月19日(土)	第89回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE89.html	3月23日(金)	当日のみ	桃山学院大学 (大阪府和泉市)
5月22日(火)	関西支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			大阪大学 中之島センター
5月23日(水)～ 5月24日(木)	第14回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.mkg.sfc.keio.ac.jp/UBI/seminar-14.html	3月16日(金)	当日のみ	立命館大学 びわこ・ くさつキャンパス
5月23日(水)～ 5月25日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム SAC SIS 2007 http://www.hpcc.jp/sacsis/2007/			学術総合センター
5月24日(木)～ 5月25日(金)	第179回自然言語処理・第66回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL179SLP66.html	3月15日(木)	当日のみ	法政大学
5月25日(金)	第36回電子化知的財産・社会基盤研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP36.html	3月15日(木)	当日のみ	国際赤坂ビル
5月25日(金)	第37回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC37.html	3月20日(火)	当日のみ	キャノン(株)本社
5月25日(金)	第61回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD61.html	3月23日(金)	当日のみ	日立製作所 大森ベルポート
5月25日(金)	第74回人文科学とコンピュータ研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH74.html	3月26日(月)	当日のみ	龍谷大学瀬田学舎 (滋賀県)
5月28日(月)～ 5月29日(火)	第156回ソフトウェア工学・第5回組込みシステム 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SE156EMB5.html	4月6日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
5月30日(水)	情報処理学会第50回通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2007-tuiyo50.html			学士会館 (東京都千代田区)
5月31日(木)～ 6月1日(金)	第165回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC165.html	3月19日(月)	当日のみ	(株)富士通研究所 岡田記念ホール
5月31日(木)～ 6月1日(金)	第142回データベースシステム・第87回情報学基礎 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS142FI87.html	3月30日(金)	当日のみ	東京工業大学
6月1日(金)	第64回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/GN64.html	3月22日(木)	当日のみ	大阪産業創造館
6月7日(木)～ 6月8日(金)	第64回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO64.html	4月7日(土)	当日のみ	筑波大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月8日(金)	第110回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HPC110.html	4月13日(金)	当日のみ	海洋研究開発機構 横浜研究所
6月14日(木)～ 6月15日(金)	第29回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ITS29.html	4月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
6月22日(金)	第21回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA21.html	4月20日(金)	当日のみ	日立製作所 システム開発研究所
6月22日(金)	第18回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/GI18.html	4月22日(日)	当日のみ	県立広島大学広島 キャンパス
6月23日(土)～ 6月24日(日)	Visual Computing/グラフィクスとCAD 合同シンポジウム 2007 http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/vc2007/	3月12日(月)		大阪工業大学情報科学部 (枚方キャンパス)
6月25日(月)	第65回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS65.html	2月21日(水)	当日のみ	Monte Carlo Resort
7月4日(水)～ 7月6日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2007) シンポジウム http://www.dicomo.org/2007/	3月9日(金)		三重県鳥羽 戸田屋
8月1日(水)～ 8月3日(金)	2007年並列/分散/協調処理に関する『旭川』サマー・ ワークショップ (SWoPP旭川2007) (発表募集: 4月17日(火) 10:00より4月27日(金) 17:00まで受付) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SWoPP2007.html	4月27日(金)	当日のみ	旭川市大雪クリスタル ホール旭川国際会議場
8月23日(木)～ 8月24日(金)	平成19年度電気関係学会東北支部連合大会 (投稿受付開始: 5月14日より) http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(金)		弘前大学理工学部
8月27日(月)～ 8月29日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2007 (SES2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-SES2007.html	5月7日(月)		日本科学未来館
8月29日(水)～ 8月30日(木)	DA シンポジウム2007 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DA2007.html	5月7日(月)		遠鉄ホテルエンパイア
9月5日(水)～ 9月7日(金)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/			中京大学 豊田キャンパス
10月29日(月)～ 10月31日(水)	International Workshop on Security (IWSEC2007) http://www.iwsec.org/	4月13日(金)		奈良県新公会堂

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■ 3月15日 人材募集情報(3月) 更新しました

[学会からのお知らせ]

■ 3月13日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■北海道大学大学院情報科学研究科複合情報学専攻

募集人員 准教授 1名
所属 複雑系工学講座
担当科目 大学院・学部の情報系科目の分担（自律系工学特論、アニメーション技術学特論、複合情報学特別研究第一・第二、計算機プログラミング演習、計算機プログラミングII、アニメーション工学、人工生命、情報工学演習I・II、情報工学実験I・IIなど）
応募資格 博士の学位を有する方。教育および研究に熱意があり、この分野の研究業績を有し、産学官連携に積極的で国際的視野を持つ方。年齢は35歳前後が望ましい
着任時期 平成19年6月16日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書（本籍または国籍、現住所、連絡先[電話番号、E-mail宛先]、学歴[高校卒業以降]、職歴、学位、賞罰、日付、自筆署名、押印）、業績リスト（査読付き論文、国際学会講演論文、著書、総説、受賞歴、特許、研究成果の産業応用実績、地域社会貢献実績、国内外学会貢献実績）に区分して記載、現在までの研究歴と研究業績の概要（2000字以内）、主要論文別刷（3編、各4部、コピー可）、将来の教育と研究に対する展望と抱負（1000字以内）、今後の大学のあり方に関する所見（1000字以内）、応募者について意見を伺える方2名（氏名、身分、所属、E-mail宛先、電話番号、Fax番号）
応募締切 平成19年5月7日（必着、期限厳守）
送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学工学研究科情報科学研究科工学部総務課人事第二係 Tel(011)706-6514
郵送の場合には「複雑系工学講座教員公募応募書類No.19-3」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
照会先 情報科学研究科複合情報学専攻複雑系工学講座 教授 栗原正仁 E-mail:kurihara@ist.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6813
その他 詳細はWebページ (<http://www.ist.hokudai.ac.jp/info/>) をご覧ください

■大妻女子大学社会情報学部

募集人員 教授もしくは准教授もしくは助教 1名
専門分野 情報処理、情報デザイン
担当科目 プログラミングの基礎・基礎演習（C言語）、デザイン論I、デザイン論II、感性デザインおよび演習、音声・音響デザインなど
応募資格 出身学部は問わないが、博士の学位を有するか、またはこれと同等以上の教育・研究業績があって教育・研究・学生指導に熱意があり、採用時の年齢が30歳以上の方
着任時期 平成20年4月1日（予定）
提出書類 履歴書、研究業績リスト（学術論文（査読の有無を明記）、解説、著書、教科書、その他を区分する）、主要論文別刷（3編、各1部、コピー可）、その要旨を各A4用紙300字程度にまとめて添付すること）、着任後の教育・研究に関する抱負（A4用紙800字程度）、応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の氏名とその連絡先
応募締切 平成19年5月31日（必着）
送付先/照会先 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報学社会科学情報処理学専攻 主任 東明佐久良 E-mail:sh-saiyou@otsuma.ac.jp Tel(042)339-0052 Fax(042)339-0044 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
*応募書類は原則として返却しないが、もし返却希望があればその旨応募の際に書き添えること
その他 【勤務場所】大妻女子大学 多摩校舎（東京都多摩市唐木田2-7-1）
Webページ (<http://www.otsuma.ac.jp/gakuin>)
最終選考の段階では面接を行うこともあるが、旅費の補助は行わない

■名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理科学専攻

募集人員 教授 1名
 所 属 情報数理モデル論講座
 専門分野 量子情報理論, 量子計算, 量子通信などの数理科学分野
 担当科目 大学院情報科学研究科・情報文化学部における情報数理関連科目, および全学共通教育科目(線形代数学, 微分積分学など)
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成20年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 査読付き学術論文, 国際会議, 講演などを区別して記述すること, また主要な論文数編に印を付すこと), 主要論文別刷(5編程度, コピー可, プレプリント(雑誌掲載予定のものはその旨を示す文書のコピーなどを添付すること)), これまでの研究内容と今後の研究計画(A4用紙2枚程度, 主要な論文における研究成果を引用して記載すること), 教育に関する実績と抱負(A4用紙1枚程度), そのほか受賞歴・学会活動など選考にあたって参考となる資料, 応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成19年5月31日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院情報科学研究科 計算機数理科学専攻長 松原 洋
 E-mail:yom@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-4834 「計算機数理科学専攻教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 その他 選考の過程で講演をお願いすることがあります
 本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております

■兵庫県立大学大学院工学研究科電気系工学専攻

募集人員 助教 1名
 所 属 電子情報工学部門
 専門分野 工学・情報数理あるいは計算機ソフトウェアに関する分野
 担当科目 大学院:電気系工学特別演習D, 電気系工学特別実験D 学部:電気系実験II, 計算機実習I, 卒業研究
 応募資格 着任時に博士の学位を有するかまたは取得見込みで, 研究と教育に熱意がある方, 30歳以下が望ましい
 着任時期 平成19年10月1日
 提出書類 履歴書(高等学校卒業以降記述の学歴, 職歴, 賞罰), 研究業績リスト(著書, 学術誌論文, Proceedings, その他の発表, 解説・記事, 特許, 受賞, 代表者・分担者を明記した研究費獲得状況, 学会および社会における活動状況, その他特記事項などに区分して記述), 主要論文別刷(3編程度, コピー可), 既往の研究内容概要(1000字程度), 着任後の教育・研究への抱負(1000字程度), 推薦書1通(または照会可能な方1名の氏名と連絡先) *A4用紙横書きを原則とする
 応募締切 平成19年5月31日(必着)
 送付先 〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学企画調整課気付 大学院工学研究科長 杉江他曾宏 「電子情報工学部門教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却しない
 照会先 教員選考委員長 山田義博(教授, 電気系工学専攻長) E-mail:koubo73@eng.u-hyogo.ac.jp
 Tel(079)267-4868 Fax(079)267-4855
 その他 【任期】7年(再任をする場合には1回を原則とし, 再任後の任期は5年とする。ただし, 特別の事情があると認められる場合は, 一定の手続きを経た上で, 例外的に再々任を認めることがある)
 【選考方法】書類審査および面接

■大阪工業大学情報科学部

募集人員 (a)准教授または講師 1名 (b)准教授または講師 1名
 所 属 (a)コンピュータ科学科(専門教育) (b)情報システム学科(専門教育)
 専門分野 (a)計算機工学(システムLSI設計) (b)計算機工学(計算機アーキテクチャ, 計算方式)
 担当科目 (a)次の[1], [2]の条件を満たすこと:[1]学部教育では「集積回路設計」, 「情報科学演習II」, 「コンピュータ入門」および関連演習科目, 情報科学の卒業研究を担当できること [2]大学院では「計算機工学領域」関係科目の講義および研究指導を担当できることが望ましい
 (b)次の[1], [2]の条件を満たすこと:[1]学部教育では「計算機アーキテクチャII」, 「人工知能」, 「情報技術者論」および関連演習科目, 情報科学の卒業研究を担当できること [2]大学院では「計算機工学領域」関係科目の講義および研究指導を担当できることが望ましい
 応募資格 博士の学位を有する方, 年齢は35~40歳程度
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 履歴書(本学所定用紙), 業績書(本学所定様式), 著書・論文(主要3点以内, コピー可), 論述(1000字以内, A4用紙1枚, 様式任意, テーマは次の通り), 健康診断書(本学所定の様式または診断項目を充足している国公私立病院, 保健所など発行のもの)
 *用紙および様式は, 大学のWebページ(<http://www.oit.ac.jp/>)からダウンロードしてください
 【論述のテーマ】「教育を充実させるために実践してきた具体的事項」「就任後の教育に対する抱負」のいずれか1つを選択
 応募締切 平成19年6月2日(必着)
 送付先 〒573-0196 大阪府枚方市北山1-79-1 大阪工業大学 情報科学部長 「情報科学部教員公募関係(専門分野○○○)」と朱書き郵送の場合は書留
 照会先 情報科学部事務室 E-mail:jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301 Fax(072)866-8302

■神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻

募集人員 准教授 1名
所 属 計算機工学分野
専門分野 ユビキタス・ウェアラブルコンピューティングに関するソフトウェア／ハードウェア分野(放送, 通信, 医療, アート, エンタテインメントなどのアプリケーション分野を含む)(担当教授: 塚本昌彦)
着任時期 平成19年10月1日
応募資格 着任時に博士の学位を有すること, 年齢35歳くらいまでの方が望ましい
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 研究歴, 教育歴, 所属機関における活動, 受賞歴[受賞理由を明記], 連絡先を記載してください), 学会ならびに社会における活動(所属学会, 学会など役員, など), 研究業績リスト(著書, 学術論文[専門誌掲載論文と国際会議論文を区別してください], 学術報告, 学術講演, 知的所有権もあれば記載してください), 研究費の導入実績(科学研究費, 共同研究, 受託研究, 各種公的研究費, 奨学金寄付金など, 代表者分のみについて項目別に記載してください), 研究業績の概要(A4用紙2枚程度), 研究に関する抱負(A4用紙1枚程度), 教育に関する抱負(A4用紙1枚程度), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 可能ならば応募者について照会できる2名の方の氏名と連絡先(電話番号, E-mailアドレスを含む)
応募締切 平成19年6月4日(必着)
送付先/照会先 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学工学部電気電子工学科 学科長 阿部重夫
E-mail:abe@kobe-u.ac.jp Tel/Fax(078)803-6101 「応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
そ の 他 Webページ(<http://www.eeddept.kobe-u.ac.jp/>)「教員公募」を参照ください
【選考方法】書類審査の後, 必要に応じて面接を行う(旅費などは自己負担)
【採否通知】決定後本人に通知
担当教科は, 学部では計算機工学II, 大学院では論理システム特論を予定. なお, 適任者が得られない場合には, 再度公募することがあります

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学専攻

募集人員 助教 1名(任期付き)
所 属 言語設計学講座
専門分野 フォーマルメソッド, 形式仕様言語とシステム, システムのモデル化と検証に関する理論, 方法論, 手法, ツールとその応用
応募資格 着任時に博士の学位を有し, 上記分野の教育および研究に熱意を有する方. 新進気鋭の方を歓迎します
着任時期 平成19年10月1日以降できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(研究論文は, 国際論文誌, 査読付き国際会議, 国内の論文誌, その他に分けて年代の逆順にリストしてください. 研究論文とは別に, 雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの学術的貢献のリストも含めてください), 主要論文別刷(5編程度, コピー可, 評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば, 必要に応じ説明を付し添付してください), これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度), 教育に対する抱負(2000字程度), 照会者2名の連絡先(E-mailアドレスを含む, 照会者への照会は選考の過程で必要に応じて行います)
応募締切 平成19年6月29日(必着)
送 付 先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 鳥津 明
「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留または書留
照 会 先 言語設計学講座 二木厚吉 E-mail:kokichi@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1255(直通) Fax(0761)51-1149(事務室)
そ の 他 【任期】5年(再任可:3年(1回限り)). 本学では, 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制を導入しています. Webページ(http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/houjin/kisoku/index.html)をご参照ください
【選考方法】これまでの研究業績および必要に応じて照会者の意見を参考に候補者を決定いたします. 研究業績については, 主要な業績の内容とその国内外の評価, 発表論文の発表先と数などを考慮いたします. 論文誌のみならず, 重要な国際会議の論文も評価いたします. 国際的に評価されている研究成果を特に高く評価いたします. 選考の途中で, 提出いただいた資料に関する説明やその他の資料の提出, 講演などをお願いする場合があります. また, 評価が同等の場合, 女性, 外国人を優先します. 応募の秘密を厳守いたします

■静岡大学創造科学技術大学院創造科学技術研究部

募集人員 教授 1名(静岡大学21世紀COE教授)
専門分野 情報処理を中心とする画像科学技術分野
応募資格 博士の学位を有し, 上記分野で業績のある方
着任時期 決定後できるだけ早い時期
応募締切 平成19年6月29日(必着)
照 会 先 三村秀典 21世紀COE拠点リーダー E-mail:mimura@rie.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1315
そ の 他 詳しくはWebページ(<http://www.shizuoka.ac.jp/gsst/index.html>)をご覧ください



FIT2007 講演募集案内
第6回情報科学技術フォーラム

公式サイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/>

【会期】2007年9月5日(水)～7日(金)

【会場】中京大学 豊田キャンパス

(愛知県豊田市貝津町立101)

情報処理学会(IPSJ)と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2007年9月には第6回目を中京大学豊田キャンパスで開催します。

本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会との流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきており、前回の FIT2006 では 762 件の論文発表が行われました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

また FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**ヤングリサーチャー賞**からなるその論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

<p>船井ベストペーパー賞</p>	<p>査読付き論文で採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5% を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文は、FIT の初日に行われる FIT 論文賞セッション(船井ベストペーパー賞選考会)において発表、その中から受賞論文 3 件 を選定。受賞論文には賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。</p>
<p>FIT 論文賞</p>	<p>上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て、FIT 論文賞セッション(船井ベストペーパー賞選考会)において発表、その中から受賞論文 7 件程度を選定。受賞論文には賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。</p>
<p>ヤングリサーチャー賞</p>	<p>発表件数の 1.5%を上限として 2007 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文および一般論文)を対象に、優れた発表を選定。受賞者には賞金 3 万円を FIT 推進委員会より贈呈。</p>

【申込み主要日程】

■査読付き論文

〔登録申込み／投稿受付開始〕

平成 19 年 3 月 12 日(月)

〔登録申込締切り／査読用原稿の投稿締切り〕

平成 19 年 4 月 26 日(木) 15:00

〔査読の採否結果通知〕

平成 19 年 6 月 25 日(月)

〔カメラレディ投稿締切り〕

平成 19 年 7 月 6 日(金) 15:00

■一般論文

〔登録申込み／投稿受付開始〕

平成 19 年 5 月 1 日(火)

〔登録申込締切り〕

平成 19 年 6 月 1 日(金) 15:00

〔カメラレディ投稿締切り〕

平成 19 年 7 月 6 日(金) 15:00

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2007 公式サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演部門の変更を行うこともございますので予め御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を挙げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、査読付き論文と一般論文があります。

査読付き論文

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。採録論文は「**情報科学技術レターズ(Information Technology Letters)**」として独立した講演論文集に掲載します。査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 4 ページに緩和された論文ページ数を活用して下さい。査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います。

※査読付き論文の募集を行わず一般論文のみの募集となる研究会があります。詳しくは【募集分野】の項を御覧下さい。

一般論文

論文ページ数・講演時間は、査読付き論文と同じですが、査読を行わない分、投稿締切りが約 2 か月遅くなります。

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。なお論文募集、査読付き論文の査読などは、情報処理学会の研究会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ(研究グループと時限研究会を含む))で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

なお、☆は情報処理学会、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

査読付き論文の募集は行わず一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

■は一般論文のみの募集となる研究会

●A:モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム(AL)

A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)

A-3 ☆プログラミング(PRO)

A-4 ※コンピューテーション(COMP)

●B:ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)

B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)

B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)

B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)

B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)

B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

●C:ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)

C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)

C-3 ☆組込みシステム(EMB)

C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)

- C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
- C-6 ※リコンフィギュラブルシステム(RECONF)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報学基礎(FI)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能と複雑系(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論(IBIS)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-4 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
- K:教育学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-4 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆分散システム/インターネット運用技術(DSM)
 - L-2 ☆高品質インターネット(QAI)
 - L-3 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-4 ☆システム評価(EVA)
 - L-5 ※ネットワークロボット(NR)
 - L-6 ※情報通信システムセキュリティ時限(ICSS)
- M:ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
 - M-6 ※ユビキタスコンピューティング時限(UBIC)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
 - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※オフィスインフォメーションシステム(OIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

【使用言語】

日本語または英語

【論文ページ数・講演時間】

論文ページ数は査読付き論文、一般論文とも 2~4 ページです。なお、3 ページ目以降はエキストラページとなります。

論文ページ数: 2~4 ページ

講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分, 質疑時間 5 分)

【講演使用機器】

査読付き論文、一般論文とも、PC プロジェクターとします。

【講演者の資格】

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KISS, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KISS, CSI)の個人会員に限りません。
非会員	上記の学会会員以外の方。

【講演参加費(税込み)】

講演参加費は、発表料、論文集CD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、CD-ROMはFIT開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場での引き渡しとなります。

また、登録申込み締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込み内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

【エキストラページ費用(税込み)】

エキストラページを利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 3,000 円/ページ

【別刷代(査読付き論文の採録者のみ)(税込み)】

査読付き論文に採録された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無にかかわらず以下のとおりです。

別刷代: 20,000 円

【講演者予稿分冊頒布】

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を1部に限り、6,000円で、講演申込み時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1部 10,000円、団体購入の場合 15,000円となります。

【最新情報確認のお願い】

FIT2007に関する最新情報は、標記のFIT2007公式サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。



Call for Papers APSEC 2007 in Nagoya, Japan

14th Asia-Pacific Software Engineering Conference
Dec 5-7, 2007 (Workshops on Dec 4, 2007)
<http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/>



Conference Committee

Conference Co-Chair:

Eiiti Hanyuda, Mamezou
Mikio Aoyama, Nanzan University

Program Chair:

Katsuhisa Maruyama,
Ritsumeikan University

Workshop Chair:

Osamu Shigo,
Tokyo Denki University

Tutorial Chair:

Makoto Nonaka, Toyo University

Publicity Chair:

Hironori Washizaki,
National Institute of Informatics

Finance Chair:

Rieko Yamamoto,
Fujitsu Laboratories

Publication Chair:

Takashi Kobayashi,
Nagoya University

Web Master:

Astuto Kubo, Waseda University

Theme: Software Engineering Innovation Everywhere

Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC) is the leading international conference in software engineering and technology in the Asia-Pacific region. APSEC 2007 will bring together researchers and practitioners from industry, academia, and government to share the state of the art technology in software engineering and seek to explore emerging challenges in software engineering innovation. As the rapid pervading of embedded and ubiquitous software, our lives are increasingly dependent on the software. Over the next several years, all kinds of embedded, personal, and enterprise application software will be connected together with each other, and will cover the globe. This is expected to bring about a sea change in software engineering.

APSEC 2007 will seek research papers and experience reports. Submissions topics of interest include, but are not limited to, the following:

- Ubiquitous and Embedded Software
- Service-Oriented Architecture
- Software Architecture
- Requirements Engineering
- Domain Software Engineering
- Software Product-Line Engineering
- Aspect-Oriented Software Technology
- Software Maintenance and Evolution
- Reverse Engineering
- Component-Based Software Engineering
- Global Software Development and Outsourcing
- Program Understanding
- Software Metrics and Measurement
- Empirical Software Engineering
- Software Project Management
- Software Process Improvement
- Quality Management
- Formal Methods
- Software Engineering Education
- Testing, Verification and Validation

Paper Submissions

All papers and reports must be prepared in IEEE format (http://www.computer.org/portal/papers/cscps/cps/cps_forms.html) and must not exceed eight pages in length, including figures and references. Submission of papers will be carried out electronically via the Web in PDF or postscript format. Submitted research papers will be reviewed and evaluated based on originality, technical quality, and relevance to conference. Submitted experience reports will be evaluated impact, correctness, and lessons learned. Accepted papers and reports will be published in the proceedings from IEEE Computer Society and its Digital Library.

Call for Workshop Proposals

APSEC 2007 also invites submissions of workshop proposals. Workshops co-located with the conference should provide an opportunity for exchanging views, advancing ideas, and discussing preliminary results on software engineering. Proposals must be directly sent to Workshop chair, Osamu Shigo (shigo@sie.dendai.ac.jp), by e-mail in PDF format, not exceed 3 pages, including one page preliminary call for papers, their relevance to the conference, expected number of presenters and participants, and a brief description of workshop organizers. Workshop participants are required to register the conference.

Important Dates

Workshop proposal submission	June 4, 2007
Workshop proposal notification	June 18, 2007
Abstract submission	June 25, 2007
Research paper submission	July 2, 2007
Experience report submission	July 2, 2007
Notification of acceptance	August 20, 2007
Camera ready copy due	September 18, 2007
Workshops	December 4, 2007
Main conference	December 5-7, 2007

For any additional queries, please contact Program Chair Katsuhisa Maruyama (maru@cs.ritsumei.ac.jp).



おひいすらん



日常の仕事の中で誰もが頭を悩ますのが書類の整理ではないでしょうか。私が現在の整理方法を思いついたのは情報処理学会に来る前でした。その方法を思いつくまでは、新しい書類を入手すると、厚さ5センチ程度で分野やプロジェクトごとに作成したファイルに綴じていました。ところが、いざある文書を探そうとするとなかなか見つからないことが結構な頻度で生じました。そこで思いついたのが、コンピュータを使用して書類を管理することでした。今までと発想を変え、書類はできるだけ細かい単位でファイルすることにしました。すなわち、新しい書類は1書類1ファイルにし、ファイルごとに連番を振り、今までに蓄積したファイルの最後尾に追加して保管しました。コンピュータには、ファイル番号ごとに、文書のタイトル、文書の内容別に設けたカテゴリコード、入手年月日、入手先などを入力しました。このようにしておいてファイルをリストしたり、検索するプログラムを作成しました。当時はメインフレーム上のアプリケーション上で動くプログラムでした。これが

効果抜群でした。1つのファイルが、いくつかのカテゴリに属することがあっても、たとえば、あるプロジェクトに関連するとともに、予算にも関連し、価格設定にも関連する、いうことがあっても、同一の連番のファイルに複数のカテゴリコードを振れるようしておけば、カテゴリコードごとに分類したリストを見て、ほとんどの場合どこかのカテゴリに目的のファイルを見つけることができました。最悪の場合は文書タイトルなどについてキーワードで検索をかければ見つかりました。現在はPC上で動くデータベースソフトを使用して同じことをしていますが、手元にある約1,500のファイルの中から目指すファイルは即座に見つかります。新しい書類を入手してもファイルに悩むことはありません。新しい連番を振ってPCに必要な情報を入力し、最後尾に閉じるだけです。注意しなければならないのは、取り出したファイルを正確にもとの位置に戻さなければならないことです。

(三田真弓/規格部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください!

【5月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4804.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2007年4月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 特集: IC タグと医療環境
1. ワイヤレス情報通信としての IC タグ 10-1-
 2. 医療情報システムと IC タグの活用 10-2-
 3. 病棟での個体情報管理と IC タグ 10-3-
 4. 手術現場での手術用器材の情報管理と IC タグ 10-4-
 5. 医用機器への IC タグの応用例 10-5-
 6. アクティブ型 IC タグの医療環境への応用 10-6-
 7. 医療分野における IC タグ (RFID) と国際標準化の動向 10-7-
- 「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの: 情報セキュリティに関する総合的な研究 10-8-
- ストレージエリアネットワークの動向 10-9-
- グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術: SOA の中核技術としての BPEL 入門 (3) 制御構造と各種のハンドラ 10-10-
- 研究会千夜一夜: これからもっと楽しい計算機アーキテクチャ 10-11-
- 研究会千夜一夜: システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会 10-12-
- これからの情報処理学会: 技術者教育評価における情報処理学会の貢献 10-13-
- これからの情報処理学会: IPSJ から J をとろう 10-14-
- これからの情報処理学会: 学会の集合知 10-15-
- 標準化よもやま話: 国際標準化 10-16-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

特集の閲読作業が始まる直前の1月中旬まで、『論文執筆においては、ひとつひとつの文章はできるだけ簡潔に短く書くこと』は「世間の常識」である、と私は思い込んでいました。実際、理工系の大学出身の方なら、この種の注意を指導教官から一度は必ず受けていることと思います。そのような中、今回の特集『IC タグと医療環境』の原稿がぞくぞくと送られてきました。いよいよ閲読開始です。数日が経過して1回目の閲読が終わったとき、「世間は広い」と私は肌で感じ取りました。そして改めて自己の未熟さを痛感しました。以下、私が「痛感したこと」について、ほんの少し視点を変えて書いてみたいと思います。「ひとつの国」とどまらない関係を「国際関係」と呼びます。

このことはよく知られていることと思います。これになぞらえて、ある高名な数学者は「ひとつの宇宙」とどまらない自らの幾何学を「宇宙際幾何学」と呼んでいます。命名のねらいは「より根源的な数学表現を求めること」にあります。ここで、「複数化+根源的表現の追及」を意味する命名手法である「際」を借用することにします。そうしますと、今回私が「痛感したこと」は以下のように言い換えることができます：特集『IC タグと医療環境』によって、私は「世間際編集」にかかわることができた幸運に感謝いたします。

(白木善尚/本特集エディタ)

次号 (5月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」地域サービスの高度化に向けて

公共サービスのあるべき姿とその実現に向けた取り組み 公共情報インフラの設計と実践/複数サービスの連携システム開発におけるデザインパターン技術/異なるドメインのサービス間の認証・認可、プライバシー情報保護技術/サービス利用者のニーズを加味したサービス情報(サービス運用条件等)の管理制御技術/複数組織がかかわるビジネスプロセスを改善するためのモニタリング技術

「小特集」IT フォーラムへの誘い

IT フォーラムとは/サービスサイエンスフォーラム/IT アーキテクト/CIO フォーラム/ユーザスタディフォーラム/インベティブ社会基盤フォーラム/Web2.0 フォーラム/福祉情報システムフォーラム/IT ダイバーシティフォーラム/ソフトウェアジャパン 2007のハイライト

解説

小中学生を対象としたロボット競技と総合理科教育..... 山下博之

連載 これからの情報処理学会/「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの

コラム 研究会千夜一夜/標準化よもやま話

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法) 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株) 精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・送付対象・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上) (株) 精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻4号 掲載広告 (五十音順)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> インタフェース..... 表2 | <input type="checkbox"/> ソフト・リサーチ・センター..... 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> オーム社..... 表2対向 | <input type="checkbox"/> モバイル・コミュニケーション・ファンド |
| <input type="checkbox"/> サイエンス社..... 目次前 | 表4 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信研究機構..... 前付最終下 | |

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ			
お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
	TEL (_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)



(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375